

1. 事業評価説明シート

事業名	砂防事業 [通常砂防事業 (国補)]	事業箇所	北都留郡小菅村池之尻	地区名	竹の沢 (たけのさわ)	事業主体	山梨県
<p>(1) 事業概要</p> <p>①課題・背景 竹の沢は、北都留郡小菅村のほぼ中心部に位置する流域面積0.12km²の土石流危険渓流である。近年の出水により崩壊や渓岸侵食が進行し、渓床には不安定土砂が堆積している。さらに、渓岸沿いには立木が密集し一部が倒木している。今後の台風や集中豪雨時には山腹崩壊拡大、土砂流出、流木による土石流発生の危険が高まっている。 保全対象には緊急輸送道路である国道139号があり迂回路もなく近隣の溪流に比べ優先度が高いといえる。さらに、この溪流には治山砂防施設は未整備であり、土石流を抑制する砂防堰堤がない。このため施設を早急に設置し、土砂災害を未然に防止したい。 (整備率 0%→100%)</p> <p>②整備目標・効果 □主要目標 ○土石流被害の防止 ・過去の災害実績、緊急度、災害発生の危険度 12点≥10点以上※ ・被害軽減額 1,025百万円≥340百万円以上※ ・保全対象 (人家13戸、国道139号(緊急輸送道路)147m) ※評価基準値 □副次目標 ○ - □副次効果 ○被災時の被害波及の防止 国道139号 (第二次緊急輸送道路) の保全</p>		<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 砂防法第6条に基づいており、県が行うことが妥当。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 費用便益費 便益 (B) / 費用 (C) = 7.0 > 1.0 ・便益 (B) = 1,025百万円、・費用 (C) = 147百万円</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 土石流対策として、砂防堰堤の設置が最も効果的</p> <p>⑥環境負荷への配慮 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 掘削法面等に緑化等を行い環境負荷軽減に配慮する。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 地元の要望に基づいており、地域の同意は得られている。</p> <p>総合評価 [貢献度ランク：a] <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p>		<p>妥当・妥当でない</p>			
<p>(2) 整備内容と整備量</p> <p>①整備内容 砂防堰堤 1基 不透過型堰堤 H=12.0m L=45.0m</p> <p>②整備期間 平成25年度～平成29年度</p> <p>③総事業費 約160百万円 (国費80百万円(5/10) 県費80百万円(5/10))</p> <p>④全体計画 (年度別整備内容) (事業費) 平成25年度 詳細設計・用地補償 10百万円 平成26年度 砂防堰堤工事 40百万円 平成27年度 砂防堰堤工事 40百万円 平成28年度 砂防堰堤工事 40百万円 平成29年度 砂防堰堤工事 30百万円</p> <p>⑤既整備内容・期間・事業費 なし</p>		<p>【事業位置図等】</p> <p>省略</p>					

2. 添付資料シート

